



提出方法

- 提出用紙を投函（行政情報コーナーの役場1階、ハピネス、公民館に設置しております。）
 - 手紙を投函（総務企画課宛に郵送ください）
 - ファックス送信
 - HP内インターネット版
<https://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/section/2020/03/chienowa.html>
 - スマホ役場（LINE）
- 寄せられたご意見について、ご本人に直接回答するほか、承諾いただいた場合は、ご意見とその対応（回答）を広報紙に掲載しています。



■ お問い合わせ
総務企画課 企画調整係
☎ 4・2511
内線 225

Q

正午のサイレンについて

正午のサイレンについてお尋ねします。大変大きな音で、恐怖を感じるほどです。子どもたちが泣いたり、高齢者が戦争を思い出すという発言も聞いたことがあります。音楽に変更するなど、今の時代にあったやり方もあるように思います。サイレンが流されるようになった経緯と、町の考えをお知らせください。



A

ご質問につきまして
お答えさせていただきます。

このたびは、御意見をいただきありがとうございます。ありがとうございます。

正午のサイレン吹鳴（すいめい）は、各地域により様々な方法で行われていると思います。

下川町では長年にわたり、いざという時のため正午に合わせてサイレン吹鳴テストを行っており、町民にとっては時報としての役割が定着していると思います。また、一方では恐怖心を助長し苦痛に感じることもあると思います。

サイレンは、町民の生命・財産を守るため火災や災害発生時に消防職員や消防団員を招集する合図として整備された設

備であり、町民のみなさんに注意喚起をしたり、避難を呼びかけたりするために使用しています。

サイレン吹鳴テストはいつ起こるかわからない緊急時にサイレンが稼働しないということが無いようにテストしておりますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

（上川北部消防事務組合 下川消防署）

